

SSKS 療育ねっとわーく川崎

2022年5月20日発行
No.252 (4000部)
NPO法人
療育ねっとわーく川崎
発行者 江川 文誠
編集者 佐藤 紀喜

我が家の車は、福祉車両では、ありません。長男は、座位はとれて55kgなのでなんとか抱き上げて車の助手席に座らせています。気管切開をしているのでゼコゼコしたり、ヒューヒューしたり、話することは出来ないの、運動しながらも気にかけています。自力排痰のサポート、吸引器での吸引をする時は、中々車を止められずにバタバタしてしまいます。そのような状況があるので、助手席に座っていない車椅子ごと車に乗るようなタイプの車だと、目も届かないし、吸引器での吸引も大変になってしまうのです。

用だと、どんなものがあるでしょうか。A ご指摘の通り、障害の状態や様々な要因により、車の種類や利用の仕方にもみなさんそれぞれだと思います。今回は違う使用の仕方をされている、お二方の使用例をお聞きしました。



Q 車椅子で車に乗ることについて、福祉車両の安全性に関することが何度か取り上げられましたが、必ずしも車椅子で車に乗るわけではないですよね。他の福祉車両や福祉車両でない普通自動車での使用は、どんなものがあるでしょうか。

気持ちに余裕もなくなって…いつもで助手席に座らせられるか?疑問ですが、気持ちに余裕を持って運転したいと思っています。

我が家は、座席が回転するタイプの車をつかっています。息子は、車に乗り込むのは困難ですが、車の座席に座っていることはできるので、このタイプを選びました。長距離をドライブするのが好きなので、座席に座る方が楽だろうと思いました。

座席が90度回転し、ドアの外に出てきて、さらに座席が下に下がるので車いすからの乗降は大変楽です。助手席が回転する車両はよくありますが、うちの後部座席が回転するタイプで、スライドドアになっています。メーカーに相談して、探してもらいました。道路の脇に止める時も安全なので、使い勝手はいいです。

私は、この自家用車で福祉有償サービスに登録し、スタッフとして送迎サポートをしています。歩行が困難な方にも安全に利用してもらっています。



今月号の目次

- 1 こんなときどうするの……………1
- 2 国土交通省などによる今後のバリアフリーの方向性……………2
- 3 車椅子利用者の移動II外出……………3
- 4 お知らせ……………4
- 5 医療的ケア交流会/報告とお知らせ……………5
- 6 福祉車両スロープタイプユーザーの声……………6
- 8 医療ケアの必要な方の車椅子……………8

(本誌5・6・7・8面は会員のみに郵送)

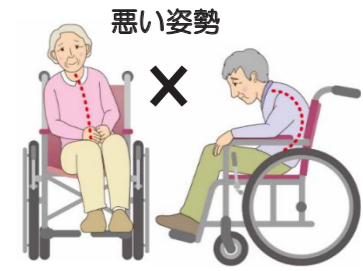
「安定した座り方」学習会

～車いす使用者の安全な乗車のためのシーティング～

福祉有償運送の活動の中で車いすを使用される方の送迎対応は、ごく当たり前のことになっていると思います。でも皆さんは、車いすのまま車両に乗車することは、一般の座席に比べて安全性に不安があることをご存じでしょうか?シートベルト・ヘッドレストの正しい装着、車いすの固定などに加え、体に合った車いすに座れているかどうか安全を確保するため重要な要素です。

車両乗車時の安全性を考える上で、日常見逃されがちなシーティングについて学びなおそうと、今回の学習会を企画いたしました。

ぜひ、ご参加ください。
※実際のシーティングによる効果を見ていただくため、感染対策をとりながらリアル開催します。



悪い姿勢 × 円背
左右の傾き
川崎市健康福祉局「良い姿勢と車いす」2011より

参加費 1000円
募集各 20名

講師:佐藤 史子氏

(理学療法士、横浜市リハビリテーション事業団ラポール上大岡)

～安定した座り方を学ぶ講義、シーティング実技見学～

①県央会場:海老名市立総合福祉会館 2階会議室

海老名市めぐみ町6-3 ※海老名駅下車徒歩7分

日時:2022年6月19日(日) 13:30~16:00

②横浜会場:神奈川タクシーセンター 3階会議室

横浜市中区日ノ出町2-130 ※京急日ノ出町駅下車徒歩5分

日時:2022年6月27日(月) 13:30~16:00

利用者の安全のために
取り組みたいこと…

- 身体にあった車いすを選ぶこと
- 円背や姿勢に傾きのある人も補正して安定した姿勢で車いすに座ること
- 安定した姿勢で座ること → 移送時の安全性を向上することができる

主催:認定 NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
お申込み/お問合せ: kanagawa-idounet@b04.itscom.net
TEL:045(534)6718 FAX:045(432)0122

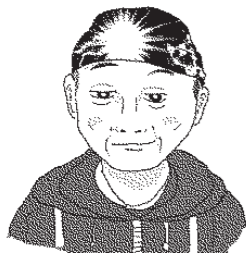


お申し込みは QR コード ↑
もしくは <https://onl.sc/Y2HPTQ4>

会員・賛助会員募集

(連絡先) 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2981 サポートセンター Rond
Tel 044-930-0160 Fax 044-930-0128 e-mail: tani@rond.jp http://rond2981.jimdo.com/
(会費振込先) 郵便振込 00280-2-26842 特定非営利活動法人療育ねっとわーく川崎
■会費・賛助会費の別をお書きください。振込用紙が必要な方はお知らせ下さい。年会費 2500円 賛助会費一口 1000円

発行所 〒一五七〇〇七二 世田谷区祖師谷三―一七七一〇二
特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価一〇〇円



歩行支障者や車椅子利用者が “移動＝外出” すること

のり せいどじょうほう
紀さんの制度情報

歩行に支障があったり、車椅子を利用されている方は、移動するのに自分で車を運転する人、公共交通機関を利用する人、福祉車両を利用する人、手段もそれぞれで、かつお一人お一人配慮が必要な点、また車椅子の形状も違うと思います。

そんな千差万別な状況でも、暮らしの中で“移動＝外出”することは必要なことです

その“移動＝外出”が安全に行われないうことは、障害があるからということでは片付けられることではないと思います。

そのため、交通バリアフリー法・バリアフリー法等により、電車やバスといった公共交通機関は、車椅子スペースを確保したり、ホームドアの設置、社内での車椅子固定等々、いろいろと環境を整えてくれています。

以前から取り上げている、福祉車両に車椅子で乗る時の安全性についても、同じ考え方の下、かながわ福祉移動サービスネットワークの方達が、「車いすの車両乗車時の安全に関する研究会」で、検討を重ねてくれています。この研究会の報告の一部を以下に記載します。

自動車に車いす乗車者を安全に乗せる世界標準規格(ISO)

ISO 10542・1 は、障害者のための「技術体系」と「援助」である。

車いす固定と安全ベルトシステム第1章:

全てのシステムに要求される項目と試験方法

- 車いす固定と安全ベルトシステム(WTORS)
- ISO 10542・1 の当初の目的は、車両の前方向衝突時に車いすに乗った乗客が重傷を負う危険性の軽減にあり、異なった衝撃状況と方向に向けて開発されると予測された ISO 10542 の追加項目である。
- 全ての WTORS は、骨盤と上半身の両方を固定する安全ベルトが、正面衝突、車両横転と横方向衝突の大部分において最も安全であると示されて以来、安全ベルトを含め、車両の前方向に向かって座った時に受ける前方向の力をふくめることが可能である。
- 人が乗った様々な車いすを固定する最も効果的で万能な方法として、4点ベルト固定が考慮された。



ISO 10542 のこの部分では、車椅子のタイダウンおよび乗員拘束システム (WTORS) の設計および性能要件および関連する試験方法、ならびに製品のマーキング (固定位置) およびラベリングの要件、ならびに設置者および消費者に対する製造業者の指示および警告が規定されています。

車いすを製作する時にその人の生活の中で、車いすに乗って車両で移動ということは十分考えられる訳ですが、日本では世界が承認している車両乗車時の車いす、その固定装置と安全ベルトの世界標準規格 (ISO) に準拠しておらず安全対策について大きな課題があります。車いす製造メーカー・固定装置車両製造メーカーまた、PT.OT からの車いす製作時の提言など相互のコミュニケーションによる多方面の協力が必要です。

国土交通省などによる 今後のバリアフリーの方向性

近年、全国で無人駅が増えてい
ます。先月号に引き続き今月号でも、
車椅子でバリアなく自由に移動出来
る方法を考えていきます。

先月号では、地方の利用が少ない
駅でも意外に低コストで段差解消が
可能なことを取り上げましたが、一
方で無人駅では列車とホームの段差
を越えられないため列車に乗れず、
また無人駅をすべて有人にするのも
難しいのが現状です。そこで駅はバ
リアフリーにしておき、列車に積ん
だスロープで乗務員が乗降介助を行
うことで事前連絡すら要らずに、気
軽に鉄道を利用出来るようにする取
り組みが全国の私鉄数社で始まって
います。神奈川県ではこどもの国線
で行われており、私も以前利用した
際に、ワンマン運転のため駅員だけ
でなく車掌もない環境でしたが、
列車が駅に到着すると運転士がス
ロープを持って素早く降りスムーズ

に介助をしていただき、その柔軟な
対応に驚いたことを覚えています。

ぜひこの方式を全国の特にJRで
も普及してほしいのですが、JRで
は安全性等を理由に運転士と車掌の
双方が乗務するツーマン運転の路線
でも行っていないませんでした。しか
し、ようやく今年3月から九州や東
北などの一部駅で実験的に始まりま
した。今後、路線や駅を限定せずに
本格的に導入されることを願ってい
ます。

駅の無人化は、地方だけの問題で
はありません。都市部の駅でも、経
費節減や人手不足を理由として駅の
「一部時間帯無人化」を行う動きが
生じています。一部時間帯無人化と
は、早朝や夜間、または日中でも細
切れの時間で駅員がいなくなる状態
です。すでに山手線内など首都圏の
複数の駅で実施されており、身近な

ところでは小田急線でも柿生など複
数の駅で一部時間帯無人となってい
ます。

駅の無人化をめぐることは、昨年こ
んな事例がありました。車椅子に乗
る女性がJR伊東線の来宮駅(無人)
を利用する際、当日乗車する小田原
駅で利用を伝えたとところ対応出来な
いと断られてしまい、一時間ほど窓
口で説得してようやく利用出来たと
いう事例がありました。この件では、
JRの労働組合が障害があっても鉄
道を使って移動することは当たり前
との考えから、女性への支持を表明
しましたが、なぜかネットではこの
女性だけでなく当事者であるはずの
労働組合にも批判が寄せられる事態
になりました。

余談ですが、この来宮駅は数年前
までは「有人駅」で、さらにその数
年前はみどりの窓口まである規模で

したが、合理化によって無人駅に
なった経緯があります。また静岡新
聞によれば、2015年に無人化が
決まったときにはすでに地元よりエ
レベーター設置の要請もあったそ
うです。乗降客数はバリアフリー
化の義務が課される3千人に近い
2千人(最後に記録が公開されてる
2013年時点)以上おり、隣には
新幹線停車駅の熱海があることを考
慮すれば、すでにバリアフリー化さ
えされていけばこうした悲しい事態
は起こらず、誰にとっても残念な出
来事だったと感じました。

都心部で過ごしているとついバリ
アフリーが進んでいる環境に慣れて
しまいますが、ハンデイのある人は
全国どこにでも暮らしています。ま
た小田急の駅の時間帯無人化から
わかるように、この問題は都心部に
暮らす私たちにも大いに関係のある
ことです。駅や地域の規模によって
解決方法は様々ですが、やはりどん
な環境であってもみんなが自由に移
動できる世の中の実現を期待してい
ますね。
(金子文俊)